

桃園小(女子)が3位入賞

全国小学生 市選抜を決定戦で破る
ハンドボール大会

男子2チームは惜敗

全国小学生ハンドボール大会(主催II財)日本ハンドボール協会・共催II市)が8月2日から4日まで、田辺中央体育館や同志社大学京田辺キャンパス体育館・田辺高校体育館で、全国から男子26チーム・女子20チームが参加して開かれました。桃園小学校ハンドボールチーム(府女子代表)が惜しくも3位に、女子市選抜チーム(開催地代表)は4位に入賞しました。
 優勝は、男子の部がスポーツ少年団守谷クラブ(茨城県代表・4年ぶり2回目)、女子の部が神森小学校ハンドボールクラブ(沖縄県代表・2年連続2回目)でした。
 本市からは京都府代表として、男子は草内小学校ハンドボールチームと女子は桃園小学校ハンドボールチーム、大会開催地代表として男女市選抜チームの4チームが出場。いずれのチームも予選リーグを突破し、決勝トーナメントへ進みましたが、男子の部2チームはいずれも一回戦で惜敗しました。女子の部2チームは決勝トーナメントでも順当に勝ち上がりましたが、それぞれ準決勝で敗れました。
 地元2チームの対戦となった女子の部3位決定戦は、白熱したゲーム展開が続き、総合的に勝る桃園小学校が女子市選抜チームを9対6で下し、3位となりました。

ディフェンスをかき分けシュートをする桃園小学校ハンドボールチーム(田辺高校体育館)



8月2日に田辺中央体育館で開かれた開会式で歓迎のことばを述べる草内小・桃園小学校の両キャプテン
 ④力強い入場行進をする選手のみなさん



点数が入るたびに盛り上がる応援席(田辺高校体育館)
 ④鉄壁の守りで対戦相手の加点を阻止する草内小学校ハンドボールチーム(田辺中央体育館)

平和の尊さを市民のみなさんに訴え、後世に伝えるため、平和都市推進協議会などは「平和のつどい」を8月6日に中央公民館で開きました。
 式典では約200人の参加者が先の戦争で犠牲となられた方々へ黙とうを捧げ、久村哲市長が「今後、平和意識の高揚を目指したまちづくりを進めてまいります」とあいさつ。引



平和のつどいでひとり芝居「花いちもんめ」を演じる女優の服部明美さん(中央公民館)

きたる、島・長崎両市長と沖繩県知事から寄せられた平和へのメッセージの紹介や、平和書道展の入賞者表彰などが行われ、式典終了後、戦争で引き裂かれた孤児を題材にした芝居も上演されました。また、平和展が8月9日までコミュニティーホールで開かれ、戦争に関する写真パネルや平和をテーマに市民から募集した書道展も開かれ、訪れた市民のみならず、戦争の悲惨さや平和の大切さを噛みしめて

平和のつどい

戦争孤児を題材に芝居も上演

尊さを訴える

市の人口

平成14年8月1日現在 ()は前月との比較

男	28,428人(+13)	合計	57,709人(+38)
女	29,281人(+25)		
世帯数		20,921世帯(+26)	

情報スクエア

Kyotanabe Information Square



くは、京田辺国際交流協会 事務局(秘書室内) ☎64・1322)へお問い合わせください。

奈良矯正展で 作業製品販売

奈良少年刑務所は、「奈良矯正展」を開きます。全国の刑務所で受刑者が発見し、これを通して外国社会復帰を目指して、いろいろな交流や異文化の理解につなげてもらうと、す。同展は、こうした作業品を体験していただきます。

北部で盛大に夏まつり

夏の夕暮れ さわやかなひととき



多くの市民が集まった北部夏まつり(大住中学校グラウンド)

8月11日(日)は大住中学校グラウンドで、北部夏まつりが開かれました。訪れた5000人と北部住民センターが共催

市は、市内に在住する視覚障害者とその家族や友だちを対象に、見学ツアーを開きます。

市農薬委員会の会長に林善嗣氏

お詫びと訂正

10月19日

金ではなく鉄として 中坊公平さんの講演会

NHK京都文化センター 日時10月19日(土)午後2時～3時30分

名・年齢・電話番号を書いて申し込んでください。

スポーツに親しむ日

日時8月31日(土)午前9時30分～正午

府民総体予選会 ボウリング競技の部

社会体育協会と教育委員会は、府民総体ボウリング競技の部に出場する代表選手を選ぼう

子育てサロン

日時9月6日(金)午前10時～正午

市民総体ソフトバレーボール

社会体育協会と教育委員会は、市民総体ソフトバレーボールを行います。

市民総体秋山登山に参加を

登山を通じて山と自然に親しみ、健康な身体と豊かな心を育もうと社会体育協会と教育委員会は、市民総体秋山登山を行います。

ふるさと京田辺歌謡発表会

文化協会は、ふるさと京田辺歌謡発表会(後援＝教育委員会)を開きます。

消費生活相談員がアドバイス

うまい儲け話にご用心

「儲け話」は豊田商事事件が有名ですが、多くの会社が少し目先を半信半疑に

【消費生活相談】

「おかしいなあ」と思ったらずに消費生活相談窓口へ電話してください。

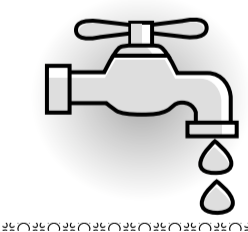
新しい本の紹介

「子どもが知りたいいろいろなもののしくみがわかる本」



水を大切に

水は有限で貴重な資源です。大切に使い、水資源確保にご協力ください。



9月の移動図書館『かんなび号』巡回表

Table with columns: 曜日, 地区名, 駐車場所, 巡回時間, 巡回日

★中央図書館・北部住民センター図書室で借りられた本も移動図書館で返すことができます。

水道料金のお支払は 便利な口座振替で!!

広報紙に掲載の写真さしあげます。

全国大会へ出場決める

府消防操法大会 28年ぶり2回目の優勝



府消防操法大会で優勝したみなさん。左から白石さん・末常さん・中島さん・川西さん

消防団

府と勤労消防協会は、8月4日に丹波自然運動公園で府消防操法大会を開きました。これは、消防団員の技能と志気高揚を図り消防活動の充実を目的に行われたもので、府内44市町村消防団員や消防職員ら約1900人が参加しました。

本市消防団は、4人で機材の取り扱いの正確さや素早さを競う、小型ポンプ操法の部に出場。見事28年ぶりに2回目の優勝をしました。同団は、京都府代表として10月に横浜市で開かれる全国大会に出場します。

操法に出場した選手は、第1分団第6部(松井ケ丘)に所属する白石敏幸さん・末常拓司さん・中島祐行さん・川西啓公さんの4人。同部では、この大会へ向け、連日の猛暑にもめげず自治会や他の団員からの支援を受けながら、夜間や休日の昼間などに猛練習を行い、優勝を勝ち取りました。



号令を合図に操法を始めるみなさん(丹波自然運動公園)

優勝旗の前で久村哲市長(左)に報告をする柳田正廣団長



9月1日 市民一斉清掃

みんなで、うるおいのある生活を



多くの市民が参加して6月2日行われた市民一斉清掃(花住坂地域)

市は、環境美化に対する市民のみなさんの意識を一層高め、うるおいのある快適な生活を送れるまちづくりを進めるため、市民と行政が一体となった「クリーンアップ京田辺」市民一斉清掃を行います。

日時=9月1日(日)
場所=各区・自治会
問合せ先=生活環境課(☎64・1366)

市民が清潔で快適な生活のできる住みよいまちづくりのため、市は平成11年に「まちを美しくする条例」を制定。また、国が定めた「環境基本計画」は、国民の役割として「環境美化活動への参加などにより、地域の環境美化に努める」ことが期待されており、環境保全推進の観点からも一層美化活動の輪を広げていくことが望まれています。

環境美化は私たち自身の課題であり、市民一人ひとりの問題として取り組みましょう。

ともに輝いて

シリーズ②

男女共同参画計画から

プランの基本理念と視点

市は、「京田辺市男女共同参画計画」新かがやきプラン」を策定しました。広報きょうたなべでは、その内容をシリーズでお知らせしていきます。

今月号は、計画の基本方向として計画の基本理念、視点についてお知らせします。

【計画の基本理念】

①男女の人権の尊重
女性も男性も同じ一人の人間として自立し、その人権が尊重され、持てる能力と意欲を十分発揮できる社会。あらゆる分野に平等・対等に参画し、男女がともに責任を担っていく社会を築いていきます。

市消防団では、消防団員を募集しています。あなたも消防団に入団してふるさと京田辺を自らの手で守りませんか。

くわしくは、消防本部総務課(☎63・1125)へお問い合わせください。

共同参画

②あらゆる分野への男女



京たなべ男女共同参画週間中に行われた「クッキングパパ」と「京田辺生活学校」によるだんご作り(中央公民館)

「男は仕事、女は家庭」地域などに対等なパートナーといった役割分業を改め、ナードとして参画し、男女が男女がともに職場・家庭・ゆとりのある充実した生活を営むことができる社会を築いていきます。

③参画と協働による豊かな地域社会の創造
性別意識を変革し、男女が社会の対等な構成員として、自分の意志で政治・経済・社会のあらゆる分野に参画し、ともに分かち合う社会を築いていきます。

④男女のパートナーシップの確立
男女が自立した個人としてお互いを尊重し、主体的に生きるためや、新たなパートナーシップの関係を築く。確立するために、女性の社会参画を支援するとともに、男性の家事・育児・介護などへの参加を促進します。

【計画の基本的視点】

①「個」の尊重
市民一人ひとりの人権が尊重され、自由に主体的に生き方が選択できるよう、その個性や能力が生かされる社会づくりを進めます。

②ジェンダーに敏感な視点の定着
「男らしさ・女らしさ」といったジェンダーによる差別を行わないよう、私たち一人ひとりがこのジェンダーの存在に気づくよう啓発に取り組みます。

③女性のエンパワーメント
女性も男性も同じ一人の人間として自立し、その人権が尊重され、持てる能力と意欲を十分発揮できる社会。あらゆる分野に平等・対等に参画し、男女がともに責任を担っていく社会を築いていきます。

④ジェンダーに敏感な視点の定着
「男らしさ・女らしさ」といったジェンダーによる差別を行わないよう、私たち一人ひとりがこのジェンダーの存在に気づくよう啓発に取り組みます。

⑤市民と市政とのパートナーシップの確立
市民が主体となった地域社会づくりを促進し、市民と市政とのパートナーシップに基づいた男女共同参画の実現への取り組みを進めます。

⑥次月号は、5つの基本目標についてお知らせします。

問合せ先=政策推進課(☎64・1310)

問合せ先=政策推進課(☎64・1310)

用語解説

「ジェンダー」とは「女らしさ・男らしさ」などそれぞれの性にふさわしいと期待される行動や態度を、人が育つ過程で身につけていく「文化的・社会的につくられた性別」のことで、生物学的な性別と区別して用いられます。

「女性のエンパワーメント」とは

女性が政治・経済・社会・家庭などあらゆる分野でさまざまな課題に取り組み、解決を図っていく力をつけることや、潜在的な能力を開発することなどをいいます。



救急救命士(左)から心肺蘇生法を学ぶ女性消防団員の土岐和美さん(消防本部)

初の女性団員誕生

災害時の後方支援など行う

市消防団は8月1日付けで、初めて女性団員を採用しました。今後、女性団員は消防団広報活動や災害発生の後方支援などを行うことになっています。

今回採用されたのは、花住坂在住の土岐和美さん(22)。「女性団員が1人なので不安もありますが、京田辺が好きなので役立ちたい。」と応募の理由を話していました。

消防団員は、火災予防の啓発など災害支援活動をする

共同参画

②あらゆる分野への男女